

# 災害情報

平成30年8月17日14:00現在

国土交通省

## 平成30年口永良部島の火山活動の高まりに伴う被害状況等について（第3報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

### 1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	8月15日	10:30	警戒体制				
九州地方整備局	8月15日	10:30	警戒体制	九州運輸局	8月15日	10:30	警戒体制
国土地理院	8月15日	10:30	警戒体制	気象庁	8月15日	10:30	非常体制
国土技術政策総合研究所	8月15日	10:30	警戒体制				

### 2. 火山活動等の概要（8月17日12時現在）

- 8月8日頃から、火山性地震や火山ガスの放出量が多い状態で経過していたが、8月15日0時頃からこれまでより深い場所で火山性地震が増加し、15日は36回、昨日(16日)は1回、本日(17日)は正午までに1回発生。15日未明に最大でマグニチュード1.9(速報値)を観測。
- 火山性地震の震源は新岳の南西山麓付近の深さ約5kmで、2015年5月の噴火前(2015年1月)に発生した地震と概ね同じ場所であると推定されることから、今後、火山活動が更に高まる可能性。

【噴火警報（8月15日10時30分発表）】

- 噴火警戒レベル2（火口周辺規制）からレベル4（避難準備）に引き上げ。
- 対象市町村等  
以下の市町村では、火口周辺で警戒が必要。  
鹿児島県：屋久島町

### 3. 国土交通省の対応

- 国土交通省連絡調整会議を開催(8/15 14:30、8/16 14:30)
- 国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める
- ホットラインの実施状況  
・屋久島町長との情報収集体制を確立済み
- 災害対策用ヘリコプター  
・はるかぜ号 8月17日 10:25 福岡空港離陸（口永良部島調査）
- TEC-FORCE等の派遣【のべ1人・日派遣(8/15)】  
・TEC-FORCE(リエゾン)の派遣 1人・日派遣(8/15)  
・TEC-FORCE(リエゾン)の派遣状況 (単位:人)

派遣先		派遣元	8月		合計	合計 (市町村)
都道府県	市町村等		15	16		
鹿児島県	鹿児島県庁	九州運輸局	1	0	1	1
合計			1	0	1	1

### 4. 気象庁の対応

- 噴火警報発表(噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から噴火警戒レベル4(避難準備)に引き上げ)(8月15日10時30分)
- 気象庁本庁記者会見(8月15日11時30分)
- 火山の状況に関する解説情報を発表(8月15日16時00分)(以降随時発表、基本的に1日1回)
- 火山活動解説資料発表(8月15日12時45分)
- 火山機動観測班が口永良部島に常駐し、熱観測・火山ガス観測等を実施(8月16日～)するとともに、火山活動についての住民説明会を実施(8月16日10時30分)。
- 引き続き厳重な観測・監視、正確かつ迅速な情報提供を行い、火山の専門家や地元自治体との連携を密にして、対応に努める。

### 5. 海上保安庁の対応（8月17日12時現在）

- (1)体制  
【8月15日】  
1030 海上保安庁災害対策室を設置  
第十管区災害対策本部を設置
- (2)対応勢力  
○巡視船艇 2隻【延べ10隻】  
○航空機 【延べ2機】  
○リエゾン 【延べ6名:屋久島町4名、鹿児島県2名】

(3) 人的・物的被害及び主な対応状況  
巡視船を口永良部島沖に配備中  
航空機による状況調査等実施

(4) 航行警報等発出状況

【8月15日】

1041 航行警報発出

1130 海の安全情報発出

## 6. 国土地理院の対応

○8月15日15:51 火山災害対策用図「口之永良部島」及び火山基本図データ「口之永良部島」を関係機関に提供。

## 7. 所管施設等の状況

○河川、管理ダム、土砂災害、水管理・国土保全局所管の海岸保全施設、下水道、道路、鉄道関係、自動車関係、航空関係、  
海事関係、港湾関係、物流関係、公園・宅地関係、公営住宅等関係、官庁施設、観光関係

・現時点で被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 伊藤
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461